

PosCheck導入事例

労災防止の最前線：PosCheckによる定量評価が導いた、根拠ある作業負荷改善と安全性評価実績

Case.01 行政も注目する改善成果：愛知労働局 労働基準部長による現場視察

- ・ 視察日：2025年10月1日
- ・ 視察先：ビューテック株式会社（PosCheck導入ユーザー様）
- ・ 視察者：愛知労働局 労働基準部長、愛知労働安全関係者
- ・ 内容：PosCheckを活用した作業負荷軽減および腰痛対策の成果確認
- ・ メディア掲載：東海テレビ、中日新聞などが同行取材



PosCheckを台車に搭載し、移動する作業者を追従し計測



2025年10月、愛知労働局 労働基準部長が「PosCheck」ユーザーのビューテック様を訪問。腰痛対策の改善成果を視察されました。東海テレビや中日新聞も同行し、行政・メディア双方から高い関心が寄せられました。

AIカメラや、実際に女性従業員らが撮った検査などを視察。負担が軽減するよう姿勢を変えた改善策を講じた。高橋部長は講評で「改善が進めば、女性や高齢者が働きやすい職場につながる。ぜひ、各社も取り組んでほしい」と呼びかけた。労働衛生通聞は7日までに、県内では昨年、532人が業務上疾病（新型コロナウイルスを除いた休業4日以上の疾病、死亡を含む）に、5年からは1.74倍に増加。その6割を腰痛が占め、腰痛対策が急務になっている。労働衛生通聞は7日までに、県内で

- ・ 開催日：2025年11月14日
- ・ 場所：AGCテクノグラス株式会社 静岡工場
- ・ 内容：「PosCheck 101」を活用した腰痛対策成果の共有および他拠点への展開検討
- ・ 弊社の役割：解析データに基づく技術アドバイスおよび改善プロセスの普及支援
- ・ 背景：静岡工場での劇的な改善成果が評価され、全社的な「ゼロベーション（腰痛ゼロへの革新）」活動へと発展。



腰痛ゼロベーション開催風景

2025年11月14日、AGCテクノグラス株式会社様において、国内全拠点の安全底上げを目指す「腰痛ゼロベーション会議」が開催されました。弊社の作業負荷自動計測システム「PosCheck 101」を活用し、先行して腰痛対策で大きな成果を上げている静岡工場の知見を全社共有することが目的です。

当日はAGCテクノグラス様の国内6拠点の作業安全管理者が集結し、その様子は各工場でも同時配信されました。会議内では「PosCheck」を用いた数多くの改善成功例が発表され、優れた取り組みを称えるコンテストも実施。弊社もオブザーバーとして参加し、技術的な側面から改善案をサポートいたしました。